

パリ第13大学—タンデムプログラム

パリ第13大学—タンデム は文化と外国語交流の教育プログラムです。このプログラムはヨーロッパ評議会の推進の下、30年来加盟国の各種学校、高校、大学において実施されてきた数多くのタンデムプログラムの系列に属するものです。これらのプログラムは異なった母国語と文化をもつ2人が交流することにより共同関係を育成することを共通原則としています。共同関係の規則は相互性です。：各人が自己の寄与が他方の寄与と同等であることに留意する必要があります。（タンデムの原則とそのヨーロッパ中での各種の実施についてより多くの情報を得るには、ページ下部のリンクをクリックして下さい。）パリ第13大学のタンデムの特徴は何でしょうか？

カリキュラムの枠内で有効な活動：

ヨーロッパ中の大学カリキュラムを調和させようとする改革の機運が高まる中、パリ第13大学タンデムは当大学に学びに来る留学生が最も良く同化できることを目的としています。留学生は在位のフランス語圏の学生と出来るだけ早く連絡をとることになります。非常に多くの場合において、フランス語圏の学生は、留学計画中であるか過去に留学経験があります。タンデムは彼らの外国の大学への留学準備か、あるいは留学して得た知識を維持する手助けをします。これら外国語と文化交流を助成するために、パリ第13大学はタンデムに有効学習としての科目単位を認可しました。：パリ第13大学タンデム協定を遵守したすべての参加者はヨーロッパ中に兌換可能な2単位を学期ごとに得ることができます。（2単位/30単位/1学期 4単位/60単位/1年）

差し向かい/隣り合わせの原則：

当然、参加者は自由にあらゆる手段（電子メール、電話等）によって連絡をとることが奨励されますが、学期ごとに最低24時間の**実際会合と共同活動**を行ったことを証明する必要があります。これらの会合の場所、周期、日程、及びその活動内容（勉強会、パリとその周辺訪問、食事と討論、スポーツ、散歩、夜間外出等）についてはすべて各自にお任せします。参考までに最初の集会の際に簡単にいくつかの成功した共同関係の例が示されます。

大学的次元：

タンデムを有効と認定するために、参加者は会合でなされた交流について熟慮する義務があります。：学期末に、参加者は担当教官に**体験報告書**を提出します。その中で参加者は自己の外国語と文化的寄与を主題ごとに分析し解説し、付録として会合と活動に関する詳細な日程表を添付します。フランス語圏外の学生はフランス語でこの報告書を作成します。参加者はまた互いの共通関心に応じた**研究討論テーマ**を選択し、そのテーマについて2つの交換言語による資料で構成された**書類**をまとめます。タンデムの単位認定は報告書と書類に関する**録音会談**（フランス語圏外の学生はフランス語、フランス語圏の学生は交換外国語）をもとになされます。参加者を案内、指導するための集会と個人あるいは2人の会合が学期中のさまざまな時期に提案されます。

個々に応じた供給と調整：

パリ第13学言語センターのプログラム責任者は各参加者の期待に正確に応じた共同関係を保証できません。：もちろんすべては需要と供給しだいですが、しかし多くの場合において当該の参加者は豊富な解決を得ることができます。パリ第13大学タンデムはいかなる言語もいかなる国籍も除外することはありません。：もしあなたの母国語がフランスの学校によって教えられている言語に属さず、フランス語圏の学生の側の特定の要求の対象ともならない場合は、あなたのパートナーとフランス語と英語で国際交流を実践しつつ、あなたの文化を紹介し、言語の初歩を教えることを提案します。

もしあなたがパリ第13大学への留学をお考えで、タンデムに関心があるならば、マリーマルダグ、パリ第13大学言語センター責任者と連絡をとって下さい。： dir-sel@univ-paris13.fr

翻訳 中西 史明（パリ第13大学在学中）

リンク：